

消費者委員会委員と消費者団体ほか関係団体等との意見交換会に 日本ヒーブ協議会が参加しました

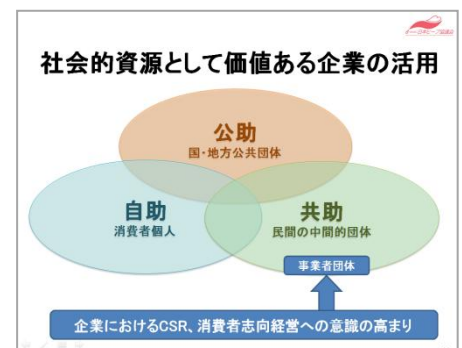
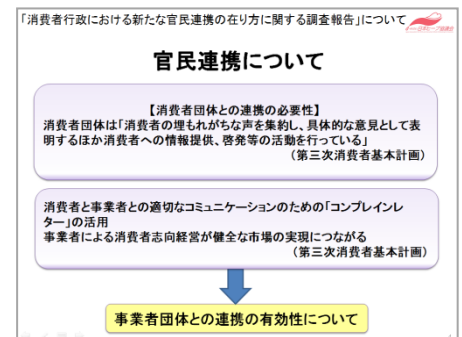
日本ヒーブ協議会が内閣府消費者委員会の「消費者委員会委員と消費者団体ほか関係団体等との意見交換会」に参加しました。

テーマ：「官民連携の具体的なアイデアについて」
 日時：平成28年3月18日(火) 13:00～15:00
 場所：消費者委員会会議室
 出席者：(委員)河上委員長、池本委員長代理、阿久澤委員、大森委員、長田委員、樋口委員
 (団体)全国消費者行政ウォッチねっと
 全国消費者団体連絡会
 日本経済団体連合会
 日本司法書士会連合会
 日本ヒーブ協議会
 (事務局)黒木事務局長、小野審議官、丸山参事官

ヒーブ協議会からは川口代表理事、宮木副代表理事の2名が代表で参加しました。報告内容は下記の通りです。

【日本ヒーブ協議会の説明(官民連携の具体的なアイデアについて)】

- ・日本ヒーブ協議会における活動のスタンス
- ・コミュニケーションの活性化による三位一体の消費者市民社会構築に向けて
- ・官民連携への課題意識
 (「消費者行政における新たな官民連携の在り方に関する調査報告」より)
- ・消費者と企業のコミュニケーションの実態と課題の指摘
- ・2015年度研究活動「超高齢社会における企業の消費者対応」冊子作成の報告
- ・社会的資源としての価値ある企業の活用に向けて
- ・官民連携に向けた具体的提案
 消費者と企業のコミュニケーション支援と相互連携推進への提案に向けて
 - ①企業・行政の間での情報交換による実態把握の必要性
 - ②消費者・企業・行政の三者間での情報交換による相互理解の必要性
 - ③企業間の連携に対する行政のサポート(異業種・企業規模間の認識のギャップ解消も課題)
 - ④企業から消費者への発信機会の創出・支援(教育機会の創出・消費者の理解促進)



消費者委員会では定期的に意見交換会を実施しています。今回の全体の議事録は内閣府のホームページ (<http://www.cao.go.jp/consumer/iinkai/2016/003/shiryou/index.htm>)に掲載されていますので、興味のある方はご覧ください。
 日本ヒーブ協議会の提出資料は <http://www.heib.gr.jp/> にも掲載予定です。